

I 調査概要

I 調査概要

1. 調査の目的

現行の「藤沢市高齢者保健福祉計画2008（介護保険事業計画）」について平成20年度中に見直しを行い、改定計画を策定するにあたり、本市の高齢者の生活実態等を把握し、施策の計画的な推進を図るための基礎資料を得ることを目的として実施した。

2. 実態調査の対象者等

① 平成19年11月1日現在で、藤沢市内に住民登録している65歳以上の方で、介護保険の要支援要介護認定を受けていない、62,156人を調査対象とした。

すなわち、本調査は「自立して日常生活を営める高齢者」を対象としているが、なんらかの理由で要支援要介護認定を受けていない方、支援を必要とする方も含まれることが想定される。

② 調査対象者のうち、性別・年齢5歳階層・13地区を考慮し、3,000人を無作為抽出した。

※抽出率=4.83%

③ 要介護を受けている高齢者の実態に関しては、介護保険課で別途実施する「介護保険サービス利用者アンケート」の中で把握する(3,000人を抽出、12/5～12/20に実施)。

3. 調査方法

原則として、郵送配布、郵送回収で調査を行った。ただし、場合によっては、市役所、市民センターへの直接持ち込み等の方法でも回収した。

- ・調査票発送日：平成19年11月 8日（木）
- ・回答締切日：平成19年12月 3日（月）
- ・調査項目：前回調査（平成16年度 高齢者保健福祉計画等改定に向けた実態調査）に準じ、国・県等の見直し動向により整理。

4. 回収結果

- ① 発送件数 3,000件
- ② 非該当数 3件（返戻等）
- ③ 回収数 **1,809件**
(内、郵送1784件、持参23件、庁内便2件)
- ④ 回収率 60.36% (③/{①-②}×100)

5. 調査結果利用上の注意

- 本調査で回収できた1809件のうち、全ての設問に無回答であった「完全無回答」のサンプル15件を除くと、**有効サンプル数は1794件**であった。
- 各設問の構成比の算出にあたっては、設問毎の無回答の件数を差し引いた件数を基数（構成比100%）として構成比を算出している（一部の設問は除く）。したがって、設問毎にサンプル数＝構成比の基数は異なっている。
- 構成比の算出にあたっては、小数点第2位を四捨五入しているため、構成比の合計が100%にならない場合がある。
- 図表中のタイトルに「(複数回答)」と表記がある場合は、選択肢の中から複数を選ぶ設問である。特に表記がない場合は、選択肢の中から1つだけ選ぶ設問（単一回答）である。
- 本報告書に使用している図表（グラフや表）は、作図の都合上設問や回答の選択肢及び数値を省略している場合がある。
- 本報告書作成にあたっては、各設問のサンプル数（基数）に占める割合を集計（単純集計）しているが、前回調査（平成16年度 高齢者保健福祉計画等改定に向けた実態調査）と同様の設問については、前回と今回の比較（経年変化）も合わせて行っている。
- また、特定の設問に着目し、その選択肢の回答件数ごとの集計（クロス集計）も行っている。具体的には、次の集計区分である。
 - ① 性別クロス集計（問2）
 - ② 性・年齢別クロス集計（問2×問3）
 - ③ 居住地区別クロス集計（問4）
 - ④ 世帯別クロス集計（問5）
 - ⑤ 健康状態別クロス集計（問17）
- なお、クロス集計のうち、「④ 世帯別クロス集計」及び「⑤ 健康状態別クロス集計」については、選択肢を再構成して集計・分析を行っている。具体的には、次のように再構成している。

●問5「家族構成」の回答をもとにした「世帯」別クロス集計項目

問5の選択肢	クロス集計項目
1：ひとり暮らし	ひとり暮らし
2：夫婦のみ（ともに65歳以上）	夫婦のみ
3：夫婦のみ（どちらかが65歳以上）	
4：その他の世帯	その他

●問17「健康状態」の回答をもとにした「健康状態」別クロス集計項目

問17の選択肢	クロス集計項目
1：大した病気も障害もなく、普通に生活している	健康である
2：何らかの病気や障害はあるが、日常生活は、ほぼ自分でできるし、外出も一人でできる	健康ではない
3：何らかの病気や障害はあって、日常生活は、ほぼ自分でできるが、外出は介助なしではできない	
4：何らかの病気や障害はあって、家の中での生活は誰かの手助けが必要である	
5：何らかの病気や障害はあって、食事、着替え、トイレなど日常生活について全面的に介助が必要である	